

## 9月定例会

陸別町議会9月定例会は、9月7日から15日まで、その内の4日間開かれました。今定例会では、委員の選任3件、計画の策定1件、条例案5件、補正予算案4件、意見書案1件を可決し、令和2年度決算全7会計を全て認定し、閉会しました。

▶ 鹿による被害が増大



**Q** 鹿によるデントコーンへの食害が増えているので、ハンターの捕獲頭数上限を、現在の10頭から増やすなど強化する対策と、鹿柵のあるべき姿を、更に考えていく時期にきていると思われるが、今後どのような対策をしていくのか伺う。

有害鳥獣駆除捕獲奨励金 116万円

### 補正予算質疑から

鹿によるデントコーンへの食害増大で収穫量が減

**A** 町内全域で鹿によるデントコーンへの被害が非常に多かった。捕獲許可頭数については、猟友会と相談して決めたい。鹿柵は、農協が主体となつて修繕などを行っているが、鹿柵内の面積が広大なため、その中の鹿の食害問題など、情報を集めて、関係機関等から意見をいただき検討していきたい。



ハンターによる有害鳥獣駆除（イメージ画像）

### 令和3年度 各会計補正予算

会計名		補正額	総額
一	一般会計	5,642万円	50億5,148万円
特別会計	国保事業勘定	30万円	4億3,733万円
	国保直診勘定	872万円	3億5,183万円
	介護保険事業勘定	1,170万円	3億2,878万円

# 令和2年度 各会計決算認定も認定

一般会計決算審査意見書(抜粋)

## 実効性のある

## 各種施策の展開を

年度当初に計画した、各種事務事業は概ね執行され、健全財政を維持しながらも、産業の振興、福祉の向上、生活環境の整備、教育の充実など、一定の行政成果を達成されたものと認識されることである。

歳入財源の獲得努力と歳出経費の節約努力により、多様な行政成果と事業実績を上げる一方で、安定的な実質収支と備荒資金を含めた各種基金等の残高を確保したことに対し、その行政運営を高く評価することにも、これらの基金等や有効財源の活用により、陸別町の行政がもたらす多様な恩恵を町民がもつと享受できるよう、実効性のある各種施策の展開を期待するものである。

監査委員 飯尾 清  
監査委員 中村佳代子

## 令和2年度 一般会計・特別会計歳入歳出決算額

### 一般会計

#### 簡易水道事業特別会計

歳入 1億7,911万円  
歳出 1億7,421万円  
差引額 490万円

#### 公共下水道事業特別会計

歳入 1億3,273万円  
歳出 1億3,029万円  
差引額 244万円

#### 国保直診勘定特別会計

歳入 3億4,652万円  
歳出 3億3,196万円  
差引額 1,456万円

#### 介護保険事業勘定特別会計

歳入 3億4,440万円  
歳出 3億3,347万円  
差引額 1,093万円

#### 国保事業勘定特別会計

歳入 4億5,743万円  
歳出 4億5,558万円  
差引額 185万円

#### 後期高齢者医療特別会計

歳入 4,728万円  
歳出 4,728万円  
差引額 0円

歳入 59億8,956万円  
歳出 58億5,055万円  
差引額 1億3,901万円

# 一般質問

9月定例会では5人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

## ポストコロナ社会

### における地方創生

久保広幸 議員

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大は、最初の緊急事態宣言発出以降、約一年半にわたって幾度かのリバウンド感染を繰り返しつつ、いまだ収束にはいたっていない。

感染拡大の影響が長引くにつれて、様々な方面で新しい生活様式が日常の中に浸透しつつあるが、このような社会の動きの中で、いわゆるポストコロナの社会をどの様に行政運営して行くのか。最初に、学校教育におけるICTの活用について伺う。

**警** 昨年度に校内のネットワーク環境が整備されたことで、小中学校の総ての授業でタブレット端末が活用されている。

特に、中学校では通常授業はもとより、出席が叶わ

なくなつた生徒への授業配信を行うなど、タブレット端末の持ち帰りの活用も進めている。

**問** 行政運営における政策、施策への影響について、人口密集リスクの顕在化に伴い、国は都市部から地方への人の流れを作る分散型社会の創生を推進している。地方創生推進交付金を充てて、昨年度から取り組んでいるU-Jターン新規就業支援事業及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の事業として取り組んでいる、ワーケーションモニター事業の現状を伺う。

**町長** U-Jターン新規就業支援事業は、東京圏から当町に移住して、必要な条件を満たした場合に、

移住支援交付金を交付するもので、昨年度は町内事業者に説明を行った。現在1社が登録されているが、まだ事業実績は無い。

また、新しい取り組みのワーケーションモニター事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、都道府県を跨ぐ移動には消極的な動きになっており、当町においても今後の状況を見据えながら、実施のタイミングを判断したい。

### 特養改築計画への支援

**問** 昨年12月、特別養護老人ホームの改築計画が、経営している社会福祉法人から町に示されたとの報告があった。現在、令和4年度社会福祉施設等施設整備計画を北海道に提出し、協議を進めているとのことである。計画では、事業規模が入所60室のユニット型全室個室に、短期入所8室を併設し、加えて中間施設相当の5室を整備するとし

ていて、現施設に比べると、延べ床面積で約2倍強、総事業費で約3倍強になるということであった。

現施設が昭和59年に、当町の全面的な支援によって整備された経緯を考えると、この度の整備においても、覚悟を持った町の支援が必要になると思うが如何か。

**町長** 経営する社会福祉法人からは、法人理事会等での説明において、金額の提示は不要としつつも、議会に補助を提案する確約書の要望を受け、それを提出している。

**問** この整備計画において、中間施設相当5室の整備は、国庫補助の対象にはなっていない様であるが、サービスの提供は介護保険事業で行うのか、または町の委託事業とするのか。

**町長** 業務委託を基本に、社会福祉法人と協議を進めたい。





# ここが聞きたい

## 墓参道路を

### 危険の無い道路に改善すべき

渡辺 三義 議員

**問** 町道は町内の産業や住民の生活を守る重要な役割を果たすと共に、地域経済を支える大切な役割を担っているが、町道認定された路線数及び総距離はどのくらいあるのか。

**町長** 現在、町道として認定されている道路は220路線で、総延長は約266kmである。

**問** 墓参道路の道路構造における、勾配（登坂路）、車道、歩道幅員、道路延長はどうなっているか。

**町長** 最急勾配は12%、車道幅員は4mから7.30m、歩道幅員は1.50mから2.50m、円覚寺から火葬場までの道路延長は、約550mである。

**問** 最急勾配が12%ある墓参道路では、特に冬季間のスリップなどが発生する危険性もあり、また、車道も狭く、見通しの悪い急カーブも2か所あるため、町民からは改善して欲しいとの声も聞いている。よって、現在の道路を改良するのではなく、津別陸別線の東側（中学校側）からの安全な道路環境の整備と、道路産業を見据えた新ルートを建設する考えはないか。

**町長** 墓地の周囲は保林に囲まれていることもあり、新ルートの検討は行っていない。

**問** 墓参道路は、火葬、お彼岸、お盆納骨を含めて町民等が

頻繁に利用している。そうした危険箇所の道路状況もあって、車の接触事故が今年の8月末までに2件発生している。よって、接触事故を回避するために、あまり利用されていない歩道を取り除き、車道を拡幅する考えはないか。

**町長** 歩行者の安全面のこともあり、歩道の撤去は考えていない。ただし、道路の勾配が急なことや車道の幅員が狭いことから、特に冬の期間は、安全確保のために、ロータリー車に

よる拡幅や、滑り止め用砂箱の設置、砂の散布を他の地域よりも頻繁に行い、維持管理には取り組んできている。今後も安全走行への啓発と、道路の安全対策について、引き続き取り組んでいく。

**問** 3月・6月、9月定例会と、連続して3回に渡って陸別墓地に係る一般質問を行ってきた。今回の道路改善の件を含めて、過去2回の質問も、町民からの要望があったことであり、そのことは認識していただきたい。

今後の墓地整備については、どのように考えているのか。

**町長** 町が管理している墓地であるため、霊園風の墓地にすることは考えていない。

ただし、陸別墓地の景観や駐車場を含めた整備については、合同納骨墓の動きと合わせて、今後の検討課題としたい。



▶ 墓地から道道まで続く急な坂道

## 町民の安全のため

### 信号機・横断歩道の設置を

谷 郁 司 議員

**問** 国道242号線の市街地西側には、二つの店舗があることから、町民が国道を横断する光景がよく見受けられる。町民が国道を横断することで、交通事故が発生する危険性もあるため、店舗の近くに信号機又は横断歩道を設置してほしいとの声を聞いている。町から、再度公安委員会へ設置を要望する考えはないか。

**町長** 横断歩道等の設置は、自治会からの要請があれば、地元の駐在所を經由して、本別警察署へ要望し、更に釧路方面公安委員会において設置の判断を行っている。

国道とAコープ周辺への信号機の設置は、警察と公安委員会が現地を確認した結果、隣接する既存の信号

機から150m以上離れていないため、設置は出来ないと判断されている。

また、横断歩道は、足寄側から向かって来た場合、カーブの立ち上りとなるため、見通しも悪く、横断歩



▶ 交通量が多い国道242号のAコープ付近

道を見逃してしまう恐れもあるため、設置は出来ないと判断されている。

今後も各自治会等からの要請があれば、真摯に受け止めて、警察、公安委員会への要望は行っていきたい。

### 災害廃棄物処理条例を

#### 早急に制定すべき

**問** 天災、火災によって発生した、一般廃棄物の処理方法と料金はどうなっているのか。また、当町には甚大な災害は発生していないが、災害の発生によって生ずる、一般廃棄物を処理するための災害廃棄物処理条例を早急に制定する考えはないか。

**町長** 災害廃棄物が出た場合は、町が一次仮置場を設置し、その後分別等を行ってから、帯広市の『くりりんセンター』へ搬入することになる。また、災害等のゴミ処理料金については、該当する条例等によって縛られているが、解釈に

よっては減免も可能であるため、町民が困っている時に少しでも助かったと思われるよう、調査研究をしていきたい。

当町の災害廃棄物処理に関しては、令和4年度に足寄町・本別町との3町合同で、災害廃棄物処理計画を策定することになっている。

**問** 陸別町じん芥焼却場設置条例(昭和61年制定)が現存しているが、焼却施設は既に使用していないため、条例を廃止して、中間処理施設「ストックヤード」の内容を入れた条例に改正すべきではないか。

**町長** じん芥焼却場は、事務室やごみの集積場所として今でも使用し、施設も設置当時の状態であることから、条例は廃止していない。今後、施設が不要となつて解体等をする時がくれば、条例は廃止する。また、中間処理施設「ストックヤード」については、内部で検討していきたい。

## ICT教育のこれからと

### 今後の活用を問う

三輪隼平 議員

**問** 当町のICT教育において、ハード面（端末等）とソフト面（デジタル教科書等）の現状と、今後の活用方法についての構想はどうなっているのか。

また、独自性を持ったコンテンツを導入することの検討は行っているのか。

**警** 令和2年度中に小中学校の校内ネットワーク整備が完了し、タブレット端末については、全ての児童・生徒、教職員に、一人一台の整備が完了し、全ての授業でタブレットが活用されている。

また、授業で必要とされるアプリは、随時、インストールしている。小学校では、新型コロナウイルス感染症対策として、現在、鍵盤ハーモニカの使用ができないため、ピアノアプリを

インストールして、楽器演奏の練習に活用している。

また、教育委員会では、本年度4月より、ICTに堪能な職員を「ICT支援員」として学校に派遣し、機器の有効活用の検証や不具合の対応を行っている。

ICT教育の推進は今年度よりスタートしたばかりであり、現時点では、オリジナルコンテンツを導入する検討までには至っていない。しかし、デジタル教科書については、試験的に運用されており、当町では、一校一教科限定での導入が進んでいる。

**問** 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今後、学校が臨時休業となった際の対応、対策の検討はしているのか。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、今後、学校が臨時休業となった際の対応、対策の検討はしているのか。

▲ 小学校でタブレットを使った授業（4年生）



**問** プログラミング教育の必修化等も含めて、昨年度から学校におけるICT教育が全国的に進んでいる。当町の児童・生徒が陸別町の情報を発信する機会をつくってみてはどうか。

**警** ICTを活用することで、授業の質的向上、情報活用能力の育成や学校生活の情報化が図られ、教育の幅が広がるものと思っ

ている。小学校6年生の「ふるさと学習」の中で、新潟県の小学校とオンラインによる交流授業を実施している。情報発信の内容等、課題となることもあるが、有効に活用したいと思っている。

また、先進的にタブレットを使用した学校において、タブレットがいじめに使われたという事例もあるため、活用方法については、セキュリティ面も含めて慎重に進めていきたい。

**警** 中学校の取り組み状況は進んでいて、本人又は家族の体調不良によって、生徒が登校できない場合は、タブレットの持ち帰りによって、オンラインでの授業配信や課題を端末に取り込み、自宅学習として活用されている。今後、町内で感染者の増加や学校関係者に陽性者が出た場合は、学年又は学校閉鎖をしなければならぬ。その際は、タブレットを活用したオンライン授業を行う準備は出

来ている。

# 当町の酪農業を守るため

## 粗飼料の購入に補助を

多 胡 裕 司 議員

**問** 今年の7月から8月は異常気象に伴い、高温と水不足による干ばつが続き、特に、十勝及びオーツク管内においては、粗飼料不足が深刻化している。

具体的には、

7月の平均気温が22・3度であり、例年より4度程度高い状態が続き、更に、7月の降水量が4・5mmと例年の5%に満たない状態であった。これらの影響もあり、2番草の収穫やデントコーンの収穫量が例年より大きく減少が見込

まれる事態にある。

また、配合飼料代の上昇と、現在のコロナ禍に伴い、外食産業の自粛、昨年の全国小・中学校の臨時休校による乳製品の消費量の減少

も重なり、酪農家は大変厳しい状況となっている。

来年の春以降、粗飼料不足が心配されることから、陸別町の基幹産業である酪農業を守り、安定した経営を図るため、粗飼料等を購入する際に、町が助成をする考えはないか。

**町長** 現在、陸別農協にお

いて、9月中を目途に全農家の粗飼料の生産見込みと、需要量について確認中である。

今後、収穫作業が進むに伴い、より正確なデータが出てくるものと思っている。

粗飼料の購入に対する助成については、地域差や個人差もあり、各酪農家の考えも一律ではないと聞いている。そのため、農業者間



▲ 大量の牧草が毎日牛に与えられている

の公平性に配慮する必要もあり、現時点において、町が粗飼料の購入に対して補助をする考えは持っていない。

ただし、今後の収穫量の過不足状況について、陸別農協を始め、国、道、ホクレン等の関係団体等と情報を共有し、過去の対策等も踏まえて、しっかりと検討していきたいと考えている。

▶ ロールベラーによる牧草収穫





# 陸別中学校生徒が模擬議会を体験 ～中学生の想いを町政に～

中学生模擬議会が10月22日に議場で行われ、次代を担う中学生が模擬議会の体験を通して、地方自治の仕組みや町議会の役割などを学びました。

緊張した面持ちながらも、代表者が議員席から「ふるさと納税の現状」「特産品開発とPR」「通学路の整備」「産業の衰退と家庭ごみの多さ」「皮膚科や眼科などの専門診療開設」などについて質問し、町の管理職が分かりやすく答弁しました。

▶議員席に座る中学3年生



## 議運委員長へ 人口対策等を質問

【陸中事後学習】

陸別中学校の5時間目の授業において、生徒からの質問に議会議員が回答する「事後学習」が10月15日に行われました。

生徒からは、『議会議員の必要性は』、『高齢者対策は』、『人口減対策はどつする』、『合併についてどう考える』等々の質問があり、多胡議会運営委員長も生徒からの質問に対して、真剣な表情で回答していました。



▲事後学習で1年生からの質問





### 《町長より一言》

町中のいろいろなことを、皆さんの目線でご指摘や提案をいただき、我々が感じないようなことまで「ハツ」と思わせていただきました。我々もこれから真剣に考えて、何とか実現させていきたいと思います。

皆さんが陸別町を本当に愛しているんだと、今日は気付かせてもらい、私にとってもすごくいい日でありました。



## 2年生



西岡 亮さん



(撮影時のみマスクを外しています)

今回の模擬議会、とても楽しかったです。何故なら、自分たちが持ってきた質問や提案に、役場の職員の方たちが真面目に答えてくれて、本当の議会の雰囲気を味わえたからです。

## 3年生



原子 瑠梨さん



(撮影時のみマスクを外しています)

一言で表すならとても楽しかったです。議会傍聴は2回目ですが、参加したのは初めてだったので、自分の意見をぶつけることができ、それに回答していただき、とても貴重な機会になりました。是非もう一度やりたいです。

## 条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 公平委員会委員の選任について	同意
● 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
● 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
● 陸別町過疎地域持続的発展市町村計画の策定について	可決
● 固定資産税の課税免除の特例に関する条例	可決
● 陸別町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町福祉館等条例の一部を改正する条例	可決

### 可決した意見書

● 〇〇十禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

### 委員の任命

● 公平委員会委員に、弥生の石田静子さん（再任）を任命することに同意しました。

● 固定資産評価審査委員会委員に、共栄第1の林恵子さん（再任）、共栄第2の佐藤秀昭さん（再任）を任命することに同意しました。

### 議会の動き

【8月】

20日 議員協議会

【9月】

3日 議会運営委員会

7日 9月定例会

議員協議会

総務常任委員会

産業常任委員会

8日 9月定例会

14日 9月定例会  
15日 9月定例会

【10月】

22日 議会運営委員会

（広報編集会議）

総務常任委員会

所管事務調査

産業常任委員会

所管事務調査

次回の定例会は12月に開催されます。  
詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。



### 陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】

<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>